

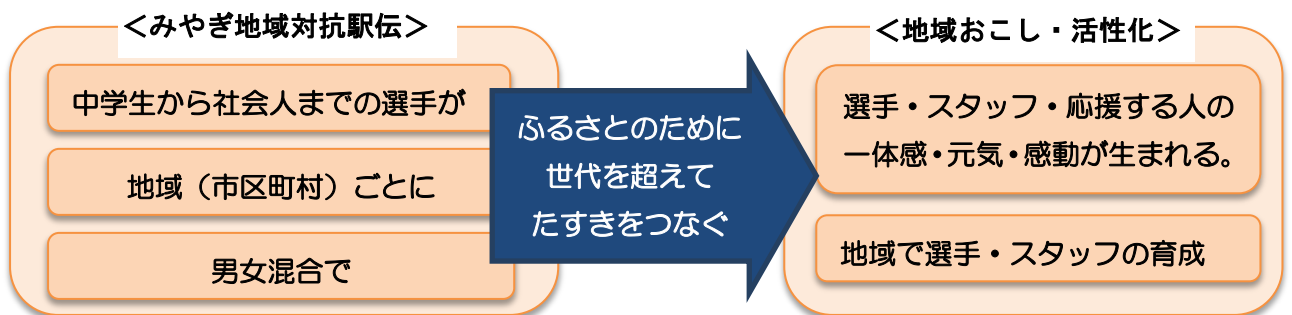
第4回みやぎ地域対抗駅伝競走大会要項

(大会公式ブログ：<http://sports.ap.teacup.com/aac2/>)

1 大会概要

(1) 目的

中学生から社会人までの選手が地域ごとにチーム編成したすきをつなぐ駅伝を開催することで、地域での選手・スタッフの育成を図り、また、選手・スタッフ・応援する人の一体感、元気、感動を生み出し、地域の活性化を図ります。



※他県では、市町村対抗駅伝としてテレビ放映されるなど、県民の一大イベントとなっている。

(2) 主催等

【主催】角田市陸上競技協会、あぶくまAC

【後援】(一財)宮城陸上競技協会、東北学生陸上競技連盟（申請中）、宮城県高等学校体育連盟、宮城県中学校体育連盟、河北新報社（申請中）、宮城の駅伝を支援する会、角田市、角田市教育委員会、角田市体育協会、公益財団法人角田市地域振興公社

(3) 日時

平成26年12月 13日(土)

【監督会議】 10:00

【スタート】 12:30（角田市陸上競技場）

(4) コース及び区間距離（予定）

角田市陸上競技場周辺周回コース（場内コース1.5km・場外コース5.1km）
8区間（男子5区間、女子3区間）39.2km

区	距離	区分	コース
1	5.9km	男子高校生以上	トラック2周+場外コース
2	3.0km	女子中学生のみ	場内コース2周
3	3.0km	男子中学生のみ	場内コース2周
4	6.0km	男子高校生以上	場内コース+場外コース
5	3.0km	女子中学生以上	場内コース2周
6	3.0km	男子中学生のみ	場内コース2周
7	5.1km	女子高校生以上	場外コース
8	10.2km	男子高校生以上	場外コース×2周

2 競技について

(1) チーム編成

① 参加資格

郡・市町村・区などの同一地域内の居住者・出身者・通学(勤)者、または、当該地域内の陸協・クラブチームに所属する者によりチームを編成すること

※複数チームのエントリーも可能とする。

※大会参加チーム数は、大会運営の安全面の確保のため30チームまでとする。

なお、30チームを超える参加があった場合は、エントリー順にかかわらず同一地域内での複数参加申込みチームを1チームにしていただくようお願いする場合がありますのでご了承ください。

② エントリー人数

(ア) 監督1名、コーチ2名

(イ) 選手17名以内

・男子選手5名以上（うち中学生は2名以上）

・女子選手3名以上（うち中学生は1名以上）

(ウ) 大会参加にあたり支障とならない範囲でのお願い

・18歳以上（高校生を除く）の選手を男女問わず1名以上含めること

・大会当日スタッフ2名のご協力

※選手が「監督」・「コーチ」を兼ねることも可能ですが、今後の地域の陸上競技を支えるスタッフ育成の観点から選出いただけると幸いです。

※「18歳以上（高校生を除く）の選手1名以上エントリー」につきましては、エントリー上のお願いであり、大会当日補欠であっても問題はありません。社会人選手の環境整備、大学生が継続して地域との関わりをもてる環境整備、また、今後の地域の陸上競技を支えるスタッフ育成の観点で行っておりますのでご理解・ご協力のほどお願いします。

③ 中学生区間

3区・6区を中学生男子、2区を中学生女子の指定区間（中学生のみ出場可）とする（なお、5区については、中学生女子の出場も可）。

(2) 競技規定

本大会は、平成26年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走基準及びこの要項等に定めるところによる。

3 参加申込み

地区の陸上競技協会へ参加確認を事前に行うことにより、地域ごとの連携の円滑化を図り、より多くの地域の方に参加いただくことを目的として、参加申込みを次の2段階とします。

区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地区の陸上競技協会	事前申込み			通常 申込み		大会 当日
中学校	開催日の お知らせ					
高校						
大学						
実業団・クラブチーム等						
地域の陸上競技教室						

(1) 事前申込み

地区の陸上競技協会に本大会への参加確認を事前に行います。

- ① 参加の事前確認（参加確認書別紙1）の提出

【期日】 9月7日（日）まで

※ 以降の参加手続きは（2）②以降と同様

(2) 通常申込み

事前申込みの状況をお知らせし、中学校、高校、大学、実業団、クラブチーム等に、参加申込みの確認を行います。

各種団体が、所在する地域の陸上競技協会の参加状況を知ること、地域の実情に合わせた連携を早期に行えることを目的としています。

- ① 参加の確認（参加確認書別紙2）の提出

【期日】 11月6日（木）まで

- ② 選手名簿の提出（別紙3）

【期日】 11月24日（月）まで

- ③ 最終オーダーの提出（別紙4）

【期日】 12月8日（月）午後7時まで

(3) 申込先

下記の間合せ先へFAX、メール又は郵送いずれかにより申込みください。

(4) 申込み確認

大会公式ブログ（<http://sports.ap.teacup.com/aac2/>）で確認願います。

(5) 参加料

大会参加料1チーム5,000円とし、大会当日受付にて受領いたします。

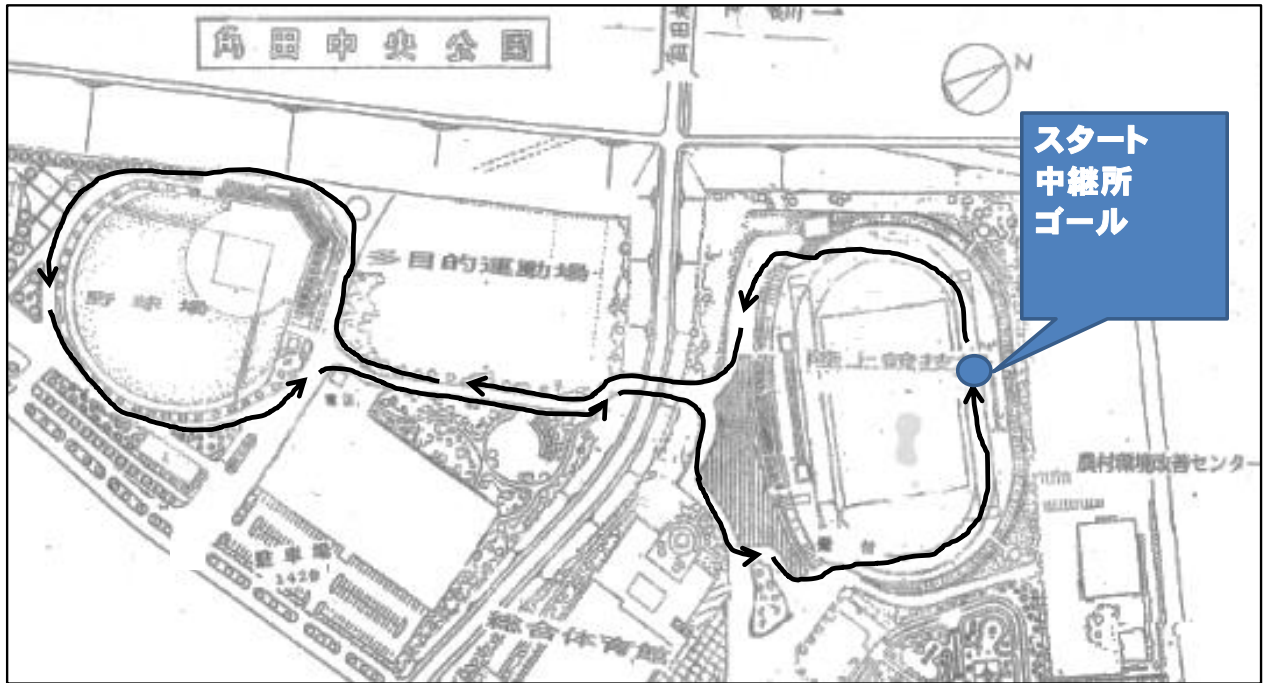
4 その他

- (1) ナンバーカードは、監督会議において配付します。
- (2) 周回コースを利用した駅伝のため全中継所が1ヶ所となっています。そのため、選手輸送及び衣類輸送の車両等はありません。
- (3) 大会当日に万一事故があった場合、主催者は緊急連絡程度の対応のみとなりますのでその後の処置、対応については、各チームで行うものとし、主催者は責任を負いませんのでご了承下さい。
- (4) 大会の記録、写真、映像等について大会発展のために主催者等が利用させていただく場合がございます。
- (5) 本大会へ参加を希望するが、どのようにしたらよいかお困りの方がいましたら、ご気軽に下記の間合せ先までご連絡ください。（例えば、・自分の居住地域の参加チームへの連絡先が分からない ・居住地域で参加チームがない ・チーム編成したいがどうしたらよいか等）

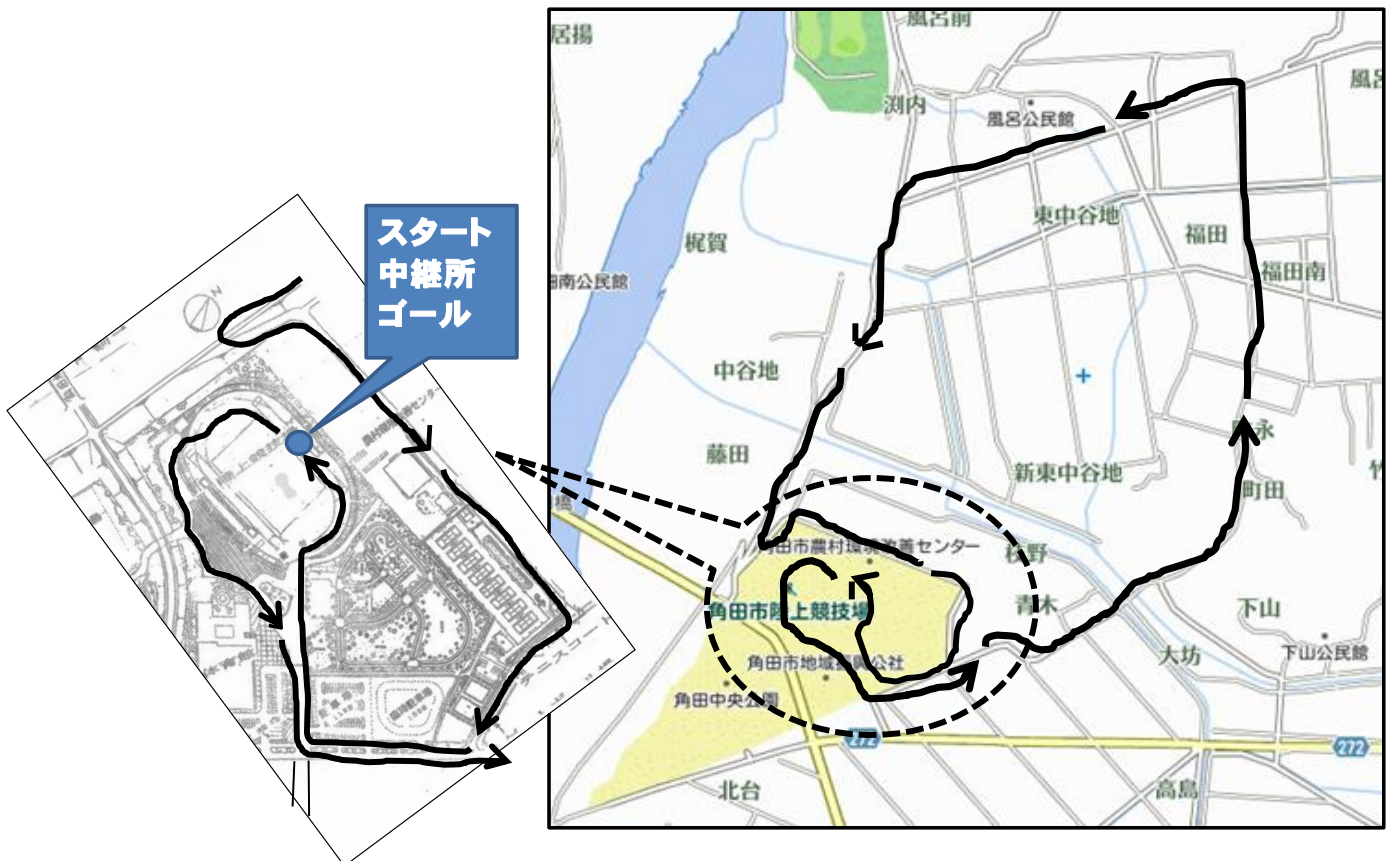
◆問合せ先◆あぶくまAC事務局 国井
住所：〒981-1505 角田市角田字旭町 34-6
電話：090-9037-3333、FAX：0224-63-2476
メール：ac_kunii@ybb.ne.jp

◆大会コース図(概要版)◆

場内コース(1.5K)



場外コース(5.1K)

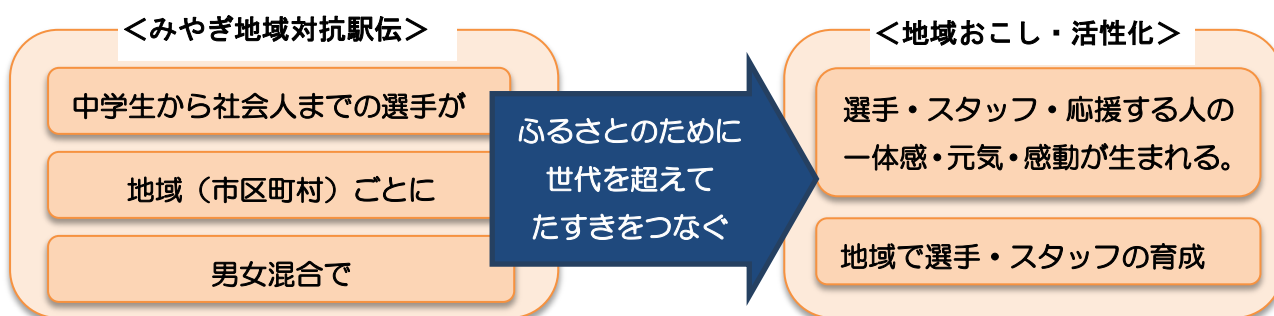


初めてのの方に、みやぎ地域対抗駅伝の概要と

今まで（H23～H25）の開催状況を紹介！！

1 みやぎ地域対抗駅伝とは？

本駅伝は、中学生から社会人までが地域ごとにたすきをつなぐ駅伝です。それにより、『地域での選手・スタッフの育成』、『選手・スタッフ・応援する人の一体感による地域おこし』を目的としています。



※他県では、市町村対抗駅伝としてテレビ放映されるなど、県民の一大イベントとなっている。

2 東北各県での市町村対抗駅伝の開催状況は？

東北地方では、本県以外のすべて県において市町村対抗駅伝が実施されています（下表参照）。その大会の様子は、テレビやラジオで放送され、新聞においても大々的に取り扱われるなど、県民の一大イベントとして、地域に元気と感動を生み出しています。

なお、秋田県では「全県駅伝」の内容を、平成26年度から全市町村が参加する市町村対抗駅伝形式としてリニューアルし開催することを決定しております。

表1 《東北における市町村対抗駅伝》

県名	大会名称 (H25の大会回数)	参加地域数	開催時期	選手構成
青森県	青森県民駅伝競走大会 (21回)	全市町村	9月上旬	中学生～社会人の男女 8区間 33.8km
秋田県	秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!! (第1回)		9月下旬	小学生～社会人の男女 9区間 9区間 33Km
福島県	市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 (25回)		11月中旬	中学生～社会人の男女 16区間 96.2km
山形県	山形県縦断駅伝競走大会 (59回)	全市、全郡	4月下旬 の3日間	中学生～社会人の男子のみ 28区間 297.1km
岩手県	一関・盛岡間駅伝継走大会 (71回)	13市10郡のうち 11市6郡	11月中旬	大学生以上の男子のみ 11区間 94.4km
(参考) 宮城県	みやぎ地域対抗駅伝 (第3回)	36市町村のうち 12地域	12月上旬	中学生～社会人の男女 8区間 39.2Km

※秋田県のみH26予定を掲載。他はH25の内容

3 今まで（H23～H25）の開催状況

(1) 概要

みやぎ地域対抗駅伝の第3回大会（H25）までの開催状況をみると、宮城陸協からの後援、助成を受けるなど運営体制が強化され、また、参加地域も第1回大会の7地域から、12地域へと増加している。

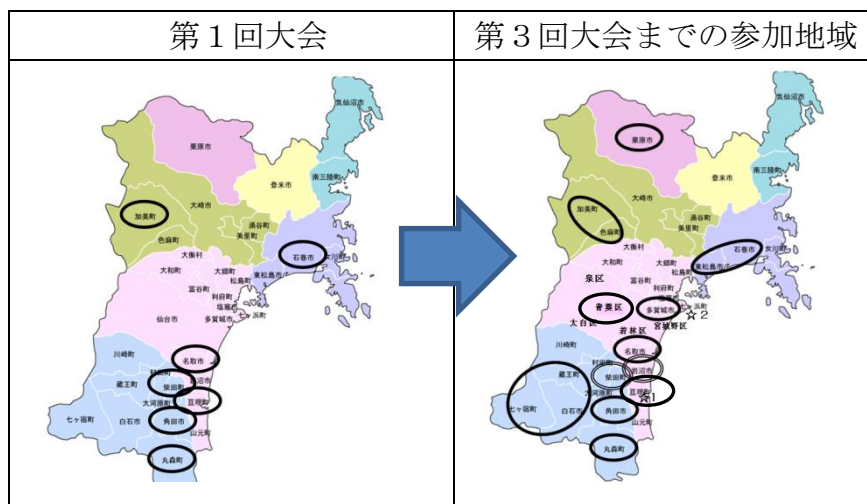


表2 《運営体制と参加地域》

大会	主催	後援	参加地域(チーム数)
第1回(H23)	角田市陸協、あぶくまAC	角田市	7地域(7)
第3回(H25)	角田市陸協、あぶくまAC	角田市、 <u>角田市教</u> 、 <u>角田市体協</u> 、 <u>宮城陸協</u> 、 <u>河北新報</u>	12地域(18)

(2) チーム編成ルールについて

本来、市町村対抗駅伝は、市町村単位でチームを編成し競合うスタイルとなっておりますが、みやぎ地域対抗駅伝では、より多くの地域の方に参加いただけるようチーム編成単位を市町村単位と限定せず、またチーム編成の母体も特定しておりません。

これは、既存の陸上競技関係団体（地区陸協、学校部活動等）が地域ごとに連携をとり、地域の実情にあったチーム編成スタイルで、より多くの地域から参加いただければとの思いからです。その結果、地区陸協、実業団、部活動（大学、高校、中学）、小学校の陸上競技教室、クラブチーム等がチーム編成の母体となり次のとおり参加をいただいております。

表3 《今までの参加チーム状況》

区分	チーム編成	参加地域
地区陸協	<u>地区の陸上競技協会</u> が、地区の中学生から社会人を選考してチーム編成	名取市、岩沼市、白石市、角田市、亶理郡、丸森町
実業団	<u>多賀城自衛隊</u> が、地元中学校（多賀城中学校）と連携	多賀城市
大学	<u>仙台大学</u> が、地元中学校（船岡中学校）と連携 <u>宮城教育大学</u> が、同付属中学校と連携	船岡 仙台市青葉区
高校	<u>石巻地区選抜の高校</u> が、地元中学校（蛇田中学校）と連携 <u>柴田高校</u> が、地元中学校（槻木中学校、船迫中学校）と連携	石巻地区 柴田町
中学	<u>多賀城中陸上部</u> が母体となりその卒業生とチームを編成	多賀城市
小学校等の陸上教室	<u>くりはらAC</u> がその卒業生を募ってチームを編成 <u>クラブいわぬま</u> がその卒業生を募ってチームを編成 <u>瀬峰走友会</u> とその卒業生を募ってチーム編成	栗原市 岩沼市 瀬峰
社会人のクラブチーム	<u>おおさきRC</u> が加美郡の中高生と連携 <u>石巻RC</u> が石巻・東松島の中高生と連携 <u>あぶくまAC</u> が仙南の中高生と連携	加美郡 石巻・東松島 仙南地域

みやぎ地域対抗駅伝

多賀城中AS連覇

角田2位に4分差大会新

第3回みやぎ地域対抗駅伝競走大会(あぶくまAC、角田市陸上競技協会主催)は8日、同市陸上競技場を発着点とするコース(8区間、39.2キロ)で行われ、多賀城中駅伝部ASが2時間8分

19秒の大会新で2連覇を果たした。県内10地域から、オーブン参加の2チームを含む18チームが出場。多賀城中駅伝部ASは4区の畠山一太がトップに立つと後続も首位を守り抜いた。初出場のくりはらAC白組が2時間12分23秒で2位、白石刈田地区選抜が3位に入った。

▽成績 ①多賀城中駅伝部AS(樋口、鈴木麗、本郷、畠山、鈴木麗、平塚、尾形、郷右近)2時間8分19秒 ②大会新のくりはらAC白組2時間12分23秒 ③白石刈田地区選抜2時間14分0秒 ④TEA M NATORI 2時間14分10秒 ⑤角田市陸協A 2時間14分14秒 ⑥船岡ウルトラスターズ 2時間16分09秒 ⑦加美郡くりはらAC紅組 ⑧右巻地区選抜 ⑨角田市陸協B ⑩柴田町クラブいわまの船岡スパー ⑪スターズ ⑫くりはらAC青組 ⑬チーム丸森 ⑭岩沼市陸協

○：目標の2時間8分台クリア 多賀城中駅伝部ASが、2位に4分以上の大差をつけて圧勝。佐々木監督(同中教諭)は「目標の2時間8分台をクリアした快走は見事だ」とたたえた。同出身の高校生主体で構成したチームは息がぴったりだった。1区樋口(仙台育英高)がトップに立った後、順位を下げたが、1位と4秒差の2位でたすきを受けた4区畠山(宮城工高)がトップを奪うと、後続も力走。5区鈴木麗(常盤木学園高)は「中盤からペースを上げる作戦が成功した」と納得顔で振り返った。アンカー郷右近(仙台育英高)は「攻めの走りを心掛けた。(仙台育英高男子が)全国高校駅伝出場を逸した悔しさがあつたが、この優勝で気持ちの切り替えができた」と吹っ切れた表情で話した。



一斉にスタートする1区の選手たち